

さわやかCPAP便



第 27 号

医療法人社団

大竹内科呼吸器科医院

H23 年 01 月発行

あけましておめでとうございます

2011年

とうとう年が明けました。今年はどんな 1 年になりますでしょうか、楽しみです。
スタッフ一同 今年もよろしくお願いいたします。

年明け第 1 弾の今回は、<呼吸のしくみ> についてです。

睡眠時無呼吸症候群は呼吸が止まるのが問題ですが、ではそもそも呼吸とは？を調べてみました。

呼吸とは、呼吸を司る肺で空気中の酸素(O₂)を取り込み(吸気)、二酸化炭素(CO₂)を排出すること(呼気)によってガスの交換を行っているのです。

吸気

細胞の活動に必要なエネルギーを生み出すためには酸素が必要です。そのため、呼吸によって肺から酸素を取り込むことは人間の生存にとって不可欠です。



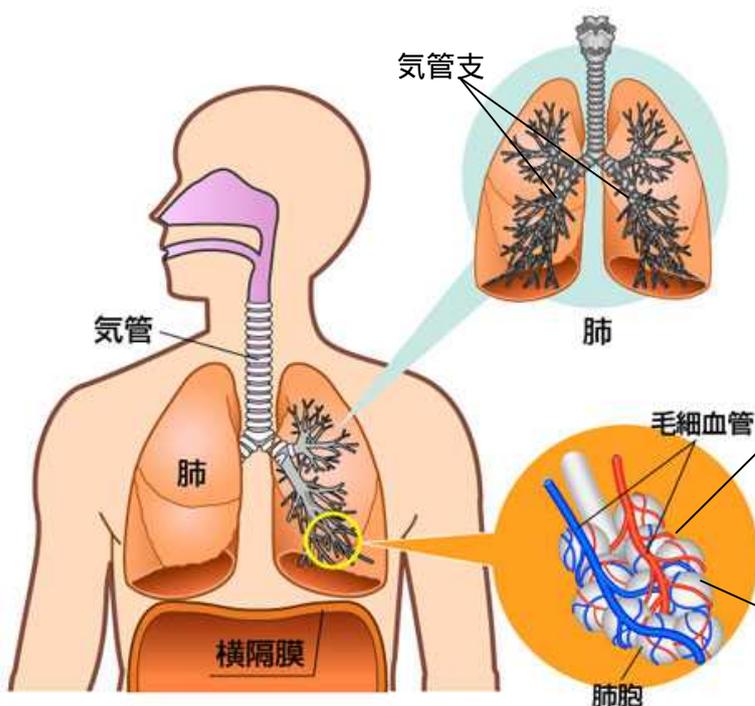
呼気

エネルギーを生み出す過程でできる二酸化炭素は体内の pH のバランスを左右しています。二酸化炭素を肺から適切に排出することも呼吸の大事な一側面です。

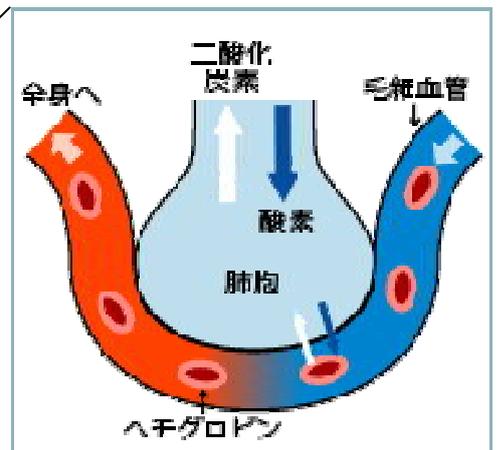


それでは、次に肺について詳しくみていきましょう。

吸気によって取り込んだ酸素は気管、さらに枝分かれした気管支を通り、最終的には肺胞という小さな肺の細胞まで到達します。



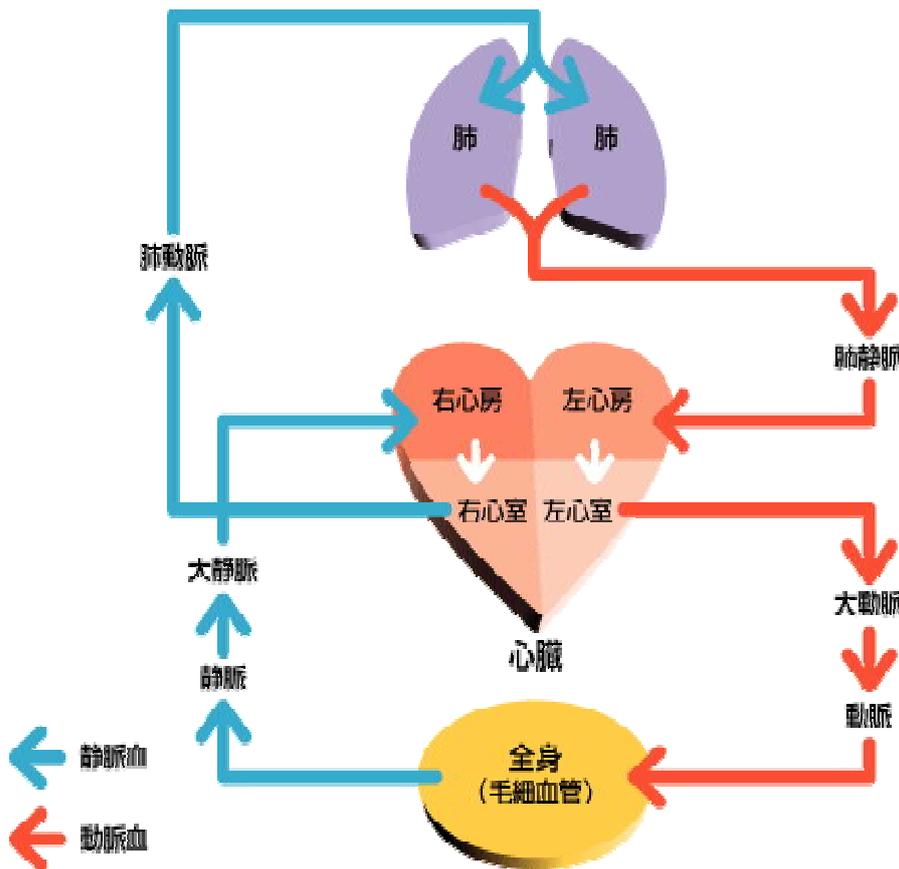
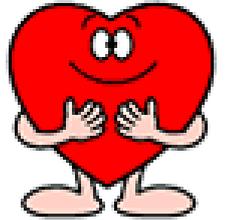
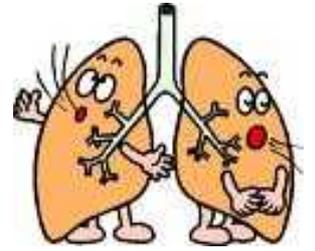
肺胞には毛細血管という細い血管が取り巻いていてその中で血液が流れています。血液に含まれている赤血球(ヘモグロビン)が酸素を受け取り、全身に酸素を運びます。貧血は赤血球が減少するため酸素がうまく細胞に運ばれなくなることで起こります。



酸素はどうやって全身に運ばれるのでしょうか？

これには**心臓**が大事な役割を果たします。**肺**と**心臓**は密接な関係を持っていて、**肺**で**酸素をたっぷり受け取った血液(動脈血)**は**肺静脈**に乗って心臓の左心房 左心室へ行き、心臓のポンプ機能によって**大動脈 動脈**を通り全身へと運ばれます。そこからさらに全身に張り巡らされている**毛細血管**を介して**すみずみの細胞**に酸素が届けられることになります。こうして酸素を受け取ることで細胞ははじめて活動できるわけです。また、細胞の活動で消費された酸素は**二酸化炭素**に姿を変えます。**二酸化炭素をたっぷり含んだ血液(静脈血)**は**静脈 大静脈**を通過して心臓の**右心房 右心室**へ行き、心臓に押し出されて**肺動脈**を通り再び**肺**へと戻ってきます。

血液循環を常に繰り返すことによって全身に酸素が運ばれ、生命が維持されているのです。



このことから寝ている時に呼吸をしていないということは、**肺**だけでなく**心臓**、さらには**全身**に**大きなダメージ**を与えることになります。**CPAP**を使用して安定した呼吸を得ることは**合併症を予防**するために非常に大切です。



冬場の CPAP 使用は**冷たい風**や**結露**のトラブルが発生します。何か対策はしていますか？？
不快感があると使用しにくくなるため、冬対策をしっかりとしましょう！！

< 受診について >



最近、最終日まで受診を忘れてしまう方がいらっしゃいます。全額自費レンタル代支払いとなっておりますのでご注意ください。また、予約日を決めずに予約外で受診される方は、待ち時間が長くなっております。当日予約は承っておりませんが、月初めの午後は空いている場合が多いためおススメです。予約を電話にて承っております。(2月の予約は1月4日(火)から承ります。)

お早めどうぞ！ **予約専用ダイヤル 050-7550-0408**